

News Release

東日本電信電話株式会社

平成 22 年 4 月 22 日

NTT インターコミュニケーション・センター(ICC) 常設展「オープン・スペース 2010」開催について

- NTT東日本が運営する文化施設NTTインターコミュニケーション・センター※¹(以下ICC)では、常設展示内容を大幅に入れ替え、平成22年5月15日(土)より「オープン・スペース2010」を開催します(入場無料)。
- 今年度の常設展はメディア・アート※²展示に加え、NTTグループ等における研究開発の取り組みを紹介するサイエンス・ラボ展示や、子供向けの作品を展示するキッズ・ラウンジを新設し、先進的な芸術表現とコミュニケーション文化をわかりやすくご紹介します。

※1 日本の電話事業 100 周年記念事業として、また NTT の文化・社会貢献活動の一環として、平成 2 年からプレ活動を開始し、平成 9 年東京都新宿区西新宿(初台)にメディア・アートの展示を中心としてオープンした文化施設。

※2 ビデオ、コンピュータなどの媒体を駆使して生み出される芸術の総称。

1. 開催期間

平成 22 年 5 月 15 日(土)～平成 23 年 2 月 27 日(日)※³

※3 休館日:毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)、平成 22 年 12 月 27 日(月)～平成 23 年 1 月 4 日(火)、ビル保守点検日

2. 主な作品

(1)メディア・アート展示

メディア・アートの世界をわかりやすく紹介します。

<展示作品例> ()内は制作年

ゲープハルト・ゼンクミュラー+フランツ・ビュッヒンガー 『パラレル・イメージ』(2008 年)



本作品は、電子的に動画を伝送する原理を再考するきっかけとなるものです。

カメラとしての機能を持つ点の集合が被写体の動きをとらえ、2,500 本のケーブルで結ばれた発光部に情報を送り、その明暗によって動画を映し出します。

ふじはたまさき

藤幡正樹 『モレルのパノラマ』(2003 年)



部屋の中央に設置されたパノラマカメラから取り込まれた映像を、コンピュータでシリンダー状のスクリーンにリアルタイムにマッピングし、展示空間の壁面に投影します。方向性を持たないパノラマレンズの使用と、映像を自在に変形させるコンピュータの画像処理技術の組み合わせで実現する「不思議な鏡」を表現する作品です。

イエンス・ブランド 『G-Pod』(2006 年)



地形や標高など、地球を周回する人工衛星から送られてくるデータをもとにリアルタイムに音を生成します。レコード盤を針が引かくように、地球の地形を引っかけて地理的データを「聴く」作品です。

(2)サイエンス・ラボ展示

NTT 研究所等の研究開発の取り組みを紹介します。

<展示作品例>

NTT コミュニケーション科学基礎研究所

たけうちたつと かしのまきお

竹内龍人+柏野牧夫 『イリュージョン・フォーラム』



目や耳の錯覚現象の体験を通じて人間の脳の不思議な働きを紹介する作品です。脳の仕組みを楽しみながら学ぶことができます。

(3)キッズ・ラウンジ

子供が楽しめる作品を展示します。

<展示作品例>

NTT コミュニケーション科学基礎研究所

はら だやすのり

原田康徳 『ビスケッ・ラボ』



「ビスケッ」は絵でプログラムを作るソフトウェアです。コンピュータ言語を知らない子供たちでも、粘土細工のような感覚で簡単にプログラミングをすることができます。体験型展示の他、子供たちの理解を深めるため、ワークショップを定期的に行います。

(4)その他の展示・施設

ICC 活動に関する映像アーカイブ「HIVE」(ハイヴ)のコンピュータ端末閲覧、図書室での資料閲覧、ミニシアターでの映像作品の視聴を通じ、ICC の歴史に多面的に触れることができます。

3. 今後の活動予定

(1) ICC キッズ・プログラム 2010（平成 22 年 8 月予定）

夏休みの自由研究にも役立つ、子供が触って楽しめる作品などを展示します。

(2) 企画展（平成 22 年 9 月以降予定）

科学技術と芸術文化の融合をテーマに、国内外の代表的な作品や若手作家の作品を紹介する企画展を開催します。

開催日程、内容については、後日 ICC ホームページ(<http://www.ntticc.or.jp/>)にてお知らせします。

4. ICC のご案内

(1) 所在地：東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー 4 階～6 階 （京王新線 初台駅東口から徒歩 2 分）

(2) 開館時間：午前 11 時^{※4}～午後 6 時

※4 今年度から開館時間が午前 11 時に変更となりました。

